

中国との戦争準備のための 自衛隊、米軍の訓練強化の神奈川の状況

神奈川県綾瀬市議会議員 越川好昭

日米、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドと 多国間の訓練が日常化 【厚木基地】 米海軍と海上自衛隊の基地

綾瀬市ではその都度、基地の強化拡大、新たな利用には反対する旨の申し入れを基地司令官に行っています。

厚木基地爆音防止期成同盟などの市民団体も同様に、厚木基地正門前で抗議行動と基地司令官への中止申し入れを行っています。

令和7年1月30日（木）から2月14日（金）

米軍C-17輸送機への自衛隊装備品の搭載検証の厚木基地での実施

● 車両や車両にけん引された装備品及びヘリコプターを米軍輸送機で輸送する際には、安全な運航を担保するため、寸法の確認や搭載要領に係る検証作業が必要となる。

● 令和7年1月30日（木）から2月14日（金）まで、陸上自衛隊CH-47JAヘリコプター（1機）及び航空自衛隊PAC3車両（3台）の米軍C-17輸送機（1機）への搭載検証を厚木基地で実施する。

➤ 米軍C-17輸送機に上記自衛隊装備品を搭載し、寸法の確認、重量の測定、固定要領の確認等を実施する。

➤ C-17輸送機への搭載は2月4日（火）に実施し、その前後の期間でヘリコプターの分解結合を実施する。

3月4日（火）の訓練に参加するため、三沢基地所属の米海軍の哨戒機P-8A（1機）とニュージーランド空軍の哨戒機P-8A（1機）が厚木基地に展開・滞在する。

海上自衛隊は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて連携を強化すべく、次のとおり米海軍及びニュージーランド空軍と共同訓練を実施します。

1 目的

（1）海上自衛隊の戦術技量の向上（2）米海軍及びニュージーランド空軍との連携の強化

2 期 日 令和7年3月4日（火）及び3月6日（木）

3 訓練海空域 日本周辺（太平洋上）

4 参加部隊

（1）海上自衛隊：P-1、P-3C （2）米海軍：P-8A （3）ニュージーラン

ド空軍：P-8A 5 訓練項目 各種戦術訓練（対潜戦、情報交換訓練）

オスプレイに抗議行動
 厚木基地で飛行中止申し入れ
 厚木基地で飛行中止申し入れ
 3月25日に在日米海軍厚木基地（大和、綾瀬市）を離陸した米軍輸送機オスプレイ2機のうち1機が長野県の松本空港に予防着陸した問題を巡り、厚木基地爆

3月24日に同基地に飛来した沖縄・普天間基地の海兵隊所属のオスプレイ3機のうちの1機。翌日に2機が離陸して30分後に松本空港に1機が緊急着陸した。オスプレイは2023年11月に鹿児島県屋久島沖で墜落事故を起こした前後から危険を回避するため警告灯の点灯に従って行う緊急着陸を国内各地で繰り返している。その経過や原因、対処法を明らかにしないまま、飛行を継続することは許されないとしている。

この日の集会には約50人が参加。爆同の石郷岡忠男委員長は「われわれは住民が安全で安心した生活ができるよう望んでいるだけ。危険性のあるオスプレイの飛行中止を再三にわたって求めてきた」と訴えた。

（山口 眞一）

日米新共同訓練の実施について

- 新空軍の哨戒機「P-8A」×1機が、3月4日（火）及び6日（木）、厚木基地及び三沢基地へそれぞれ展開・滞在するとともに、日米新3か国による共同訓練を実施します。
- 具体的には、海上自衛隊の哨戒機「P-1」及び「P-3C」が、日本周辺（太平洋上）において、新空軍の哨戒機「P-8A」と米海軍の哨戒機「P-8A」とともに、各種戦術訓練を実施します。
- 本訓練を通じて、海上自衛隊の戦術技量向上及び日米新3か国間との連携の強化を図るものです。

【共同訓練等の概要】

- 訓練期間：
令和7年3月4日及び6日
※新空軍は、3月4日は厚木基地、6日は三沢基地から離陸し、それぞれ日米新共同訓練に参加予定
- 訓練実施場所：日本周辺（太平洋上）
- 参加部隊：
【海 自】哨戒機「P-1」×1機 ※厚木航空基地所属（4日のみ）
哨戒機「P-3C」×1機 ※八戸航空基地所属（6日のみ）
【米海軍】哨戒機「P-8A」×1機 ※三沢基地所属
【新空軍】哨戒機「P-8A」×1機
- 訓練項目：
各種戦術訓練（対潜戦訓練、情報交換訓練）
- その他：
新空軍は、厚木及び三沢基地に宿泊

【訓練空域（イメージ）】



7月9日（火）から8月4日（月）の間で実施する米軍主催の訓練（レゾリュート・フォース・パシフィック（REFORPAC））

7月上旬から訓練参加のため、米空軍所属のKC-135空中給油機（1機）が国外から厚木基地に飛来。

米軍の人員20名程度が厚木基地で宿泊。

1 自衛隊統合演習

● 高射部隊の機動展開訓練

- 演習期間（10月20日（月）から10月31日（金）まで）のうち、8日間（調整中）、航空自衛隊中部航空方面隊中部高射群（人員：約30名、車両：約8台）が、PAC-3 器材を含めた車両を基地内の所定の場所まで機動させ、射撃態勢を確立するまでの手順について確認する訓練を実施する。
- 一部、夜間訓練も予定しているが、日中、夜間を含め、空包等の大きな音を発するものの使用予定はなく、実弾は使用しない。

2 海上自衛隊演習

● 滑走路被害復旧訓練

- 演習期間（10月20日（月）から10月31日（金）まで）に、海上自衛隊（第4航空群・約5～10名）、米海軍（第7艦隊・約10名～15名）が共同で実施する。（本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定）
- 米海軍部隊の人員及び機材の輸送のため、米軍の輸送機が飛来する可能性がある。
- 米海軍の人員は、基地内の米軍施設での宿泊を予定。（一部は、民間宿泊施設を利用する可能性あり）
- 爆破薬等は使用しない。

● 日本周辺海空域で行う演習に参加する次の外国軍機が駐機拠点として飛来する。

滞在期間 10月17日（金）～11月3日（月）

国名	機種（機数）	人数・宿泊場所
カナダ	CP-140（1機）	約40名・厚木基地内宿泊施設を利用
オーストラリア	P-8A（2機）	約50名・近傍民間宿泊施設を利用※2
ニュージーランド	P-8A（1機）	約40名・近傍民間宿泊施設を利用※2

※1…加⇒カナダ、豪⇒オーストラリア、新⇒ニュージーランドの漢字表記の略称。

※2…厚木基地と近傍民間宿泊施設の間の移動は、借上げバス、レンタカーを使用する。

米空母艦載機が厚木基地に飛来
10/21 大統領訪日に関連か
在日米海軍厚木基地（大和、綾瀬市）に19日、原子力空母「ジョージ・ワシントン」の最新鋭ステルス戦闘機F35Cなど複数の艦載機が相次いで飛来した。地元では27、29日に予定されるトランプ大統領の訪日に備えた動きとの見方が出ている。
飛来した艦載機は厚木基地から部隊が移駐した山口県の岩国基地の所属機。市民の監視活動によってF35CやF35B、F18の戦闘機、輸送機オスプレイの計15機が確認された。
ワシントンは18日に横須賀基地に帰港。通常ならば補給などのため艦載機は岩国基地に戻るが、一部がその後厚木基地に向かったとみられる。
周辺住民からは「大統領の訪日に伴ってひどい騒音被害を受けるのは容認できない」と抗議の声が上がっている。（山口 譲一）

イタリア、オーストラリア、インド、スペイン、イギリス、ノルウェー

外国艦船の寄港が頻繁に 【横須賀基地】米海軍と海上自衛隊の基地

米ロサンゼルス級原潜「アレキサンドリア」 横須賀に入出港 カナロコ 0319

米海軍のロサンゼルス級原子力潜水艦「アレキサンドリア」が18日午前10時15分ごろ、横須賀基地（神奈川県横須賀市）に入港し、同日午後2時5分ごろ出港した。

市によると、乗員の休養や補給などが目的。同艦の寄港は2022年4月18日以来で、通算7回目。原子力艦船の寄港は通算1080回目で、今年初めて。

イタリア海軍「アントニオ・マルチェリア」が横須賀に寄港 4月は大阪へ

3/27(木) 19:21 配信



イタリア海軍艦艇「アントニオ・マルチェリア」の前に並ぶ同艦乗員と海上自衛隊の隊員ら
＝27日、海自横須賀基地逸見岸壁

イタリア海軍のカルロ・ベルガミーニ級フリゲート「アントニオ・マルチェリア」が27日、海上自衛隊横須賀基地（横須賀市）に寄港した。日本への寄港は初めてで、同軍の艦艇では昨年8月の空母「カブール」以来。インド太平洋地域における同軍の存在感を高めることが寄港の目的とみられる。

今年1月20日にイタリアのラ・スペツィア海軍基地を出港し、2月15～22日にはインドネシア海軍主催の多国間共同訓練（コモド2025）に日米仏露など37カ国と共に参加し、インド太平洋地域における相互運用性や関係強化を確認。3月21日にフィリピン・マニラを出港していた。

海自横須賀地方総監の真殿知彦海将は「欧州の海もインド太平洋もつながっている。安全保障環境も似ており、関係を深めていきたい」と述べた。

同艦は4月8日に同基地を出港し、10～22日まで大阪港に停泊する予定。

横須賀基地に豪海軍「シドニー」寄港 乗員約240人、海上自衛隊が歓迎式

神奈川新聞 | 2025年6月3日(火) 18:54

オーストラリア海軍の駆逐艦「シドニー」が3日、海上自衛隊横須賀基地（横須賀市）に寄港し、歓迎式が行われた。シドニーの同港寄港は昨年8月以来2回目。



海上自衛隊横須賀基地に入港するオーストラリア海軍駆逐艦「シ

ドニー」＝3日午前9時ごろ、同基地

シドニーは排水量約7千トン、全長約147メートル、幅約19メートル。最高時速は約28ノット（約52キロ）。乗員は約240人。今年3月下旬にシドニー近郊の港を出港し、北朝鮮が制裁逃れのため海上で積み荷を移し替える「瀬取り」の監視を南シナ海でカナダ、ニュージーランドなどと実施後、英国や米国、フィリピンなどとの共同訓練を終え、来日した。補給や乗組員の休養が目的という。

横須賀に最新鋭ステルス駆逐艦が入港 米海軍の「マイケル・モンスーア」

神奈川新聞 | 2025年7月7日(月) 11:50

米海軍の最新鋭ステルス駆逐艦「マイケル・モンスーア」が7日午前、横須賀基地（横須賀市）に入港した。敵のレーダーに映りにくいように突起物を減らし、平面を組み合わせた宇宙船のような外観が特徴的なズムワルト級駆逐艦の2番艦。横須賀への入港は初とみられ、ヴェルニー公園前の栈橋に停泊している。

スペイン海軍艦、131年ぶり日本に 「メンデス・ヌニェス」が横須賀寄港

神奈川新聞 | 2025年7月24日(木) 18:00

スペイン海軍の駆逐艦「メンデス・ヌニェス」が24日、海上自衛隊横須賀基地（横須賀市）に寄港し、歓迎式が行われた。同海軍の軍艦が日本に入港するのは1894年以来131年ぶりで、近代艦としては初めてという。

英海軍空母打撃群が横須賀に到着 飛行甲板にF35、ノルウェー海軍も参加

神奈川新聞 | 2025年8月12日(火) 19:20

英海軍の最新鋭空母「プリンス・オブ・ウェールズ」を旗艦とする英空母打撃群が12日、横須賀に寄港した。日英安保の強化などが狙い。英空母打撃群の来日は2度目で、前回は2021年9月に同型艦「クイーン・エリザベス」が寄港した。



英海軍駆逐艦「ドントレス」とノルウェー海軍フリゲート艦「ロアール・アムンセン」と写真に収まる乗組員ら＝12日、海上自衛隊横須賀基地吉倉岸壁

ウェールズは8カ月にわたる同盟国などとの合同演習のため、ことし4月下旬に英南部ポーツマスを出港。同打撃群は今日4日から海上自衛隊や米海軍、オーストラリア海軍など5カ国と共同訓練を西太平洋で実施していた。訓練には海自護衛艦「かが」や昨秋に米海軍横須賀基地に再配備された原子力空母「ジョージ・ワシントン」などが参加した。

全長約280メートルのウェールズ（乗組員約1500人）は12日午前8時半ごろ、ステルス戦闘機F35Bなどの艦載機を乗せ、ワシントンが使用している同基地12号バースに接岸した。



米海軍横須賀基地へ入港する英空母「プリンス・オブ・ウェールズ」＝12日午前8時5分ごろ、横須賀市

一方、英海軍駆逐艦「ドントレス」とノルウェー海軍フリゲート艦「ロアール・アムンセン」は海自横須賀基地吉倉岸壁に接岸。ノルウェー艦艇の来日は初めてとなる。

同基地では両艦の入港歓迎行事が行われ、横須賀地方総監の真殿知彦海将は「3カ国の絆は逆巻く波を乗り越えるほど強い。ヨーロッパ、インド太平洋の両地域が安定と繁栄を続ける上で不可欠だ」と歓迎。



英国やノルウェーの駐日大使らと写真に収まる海上自衛隊横須賀地方総監の真殿海将（中央）ら＝12日、海自横須賀基地吉倉岸壁

ウェールズとアムンセンは東京国際クルーズターミナル（東京都江東区）にも寄港する。3隻はその後、9月2日に離日する予定。

またウェールズ入港時には市民団体「ヨコスカ平和船団」がボートとヨットを出し、洋上から抗議活動を行った。市民らが「STAY HOME FOR PEACE（平和のため

に母港にとどまってください）」と書いた横断幕を掲げ、寄港反対を訴えた。（矢部真太、最上翔）

石破首相、英海軍空母を視察 共同通信 | 2025 年 8 月 23 日(土) 10:41



海上自衛隊の護衛艦「かが」で、儀仗（ぎじょう）隊を巡閲する石破首相（左から2人目）＝23日午前、神奈川県横須賀市の海自横須賀基地（代表撮影）

石破茂首相は23日午前、米軍横須賀基地（神奈川県横須賀市）に寄港中の英海軍空母「プリンス・オブ・ウェールズ」を視察した。防衛省によると、日本に寄港した英空母打撃群の空母に首相が乗艦するのは初めて。日本が獲得を目指す空母の運用能力を確認するとともに、安全保障分野での日英協力の強固さをアピールする狙いがある。

これに先立ち、海上自衛隊横須賀基地（同市）で、事実上の空母化に向け準備が進む護衛艦「かが」を視察。最新鋭ステルス戦闘機F35Bの発着を可能にするために改修した甲板を見たほか、対艦ミサイルへの対応などについて海自幹部らから説明を受けた。視察には中谷元・防衛相が同行した。

インド海軍艦艇が横須賀に寄港 共同通信 | 2025 年 10 月 21 日(火) 19:45



記念撮影をするインド海軍のフリゲート艦「サヒヤードリ」の乗組員と海上自衛隊隊員ら＝21日午前、海上自衛隊横須賀基地

インド海軍のフリゲート艦「サヒヤードリ」が21日、海上自衛隊横須賀基地（神奈川県横須賀市）に入港した。16～17日には、九州西方の海域で海自の護衛艦「あさひ」などと共同訓練を実施した。補給と乗組員の休養が目的としており、25日に出港する。海自によると、インド海軍の横須賀基地入港は昨年6月以来。

岸壁で開かれた歓迎行事でサヒヤードリ艦長のラジャット・クマール大佐は、共同訓練で連携能力が向上したとし「日本との協力関係を進めていくのを楽しみにしている」と述べた。

インド海軍によると、サヒヤードリは今年9月にインドを出港し、韓国海軍とも共同訓練をした。